

授業科目名 (講義題目)	企業倫理		開講学期 単位数	後期 2単位
担当教員	平野 琢		講義コード	科目区分 対象学生
			18176027	
開講予定日	① 10/2 ② 10/9 ③ 10/16 ④ 10/23 ⑤ 10/30 ⑥ 11/6 ⑦ 11/13 ⑧ 11/20 ⑨ 11/27 ⑩ 12/4 ⑪ 12/11 ⑫ 12/18 ⑬ 1/8 ⑭ 1/22 ⑮ 1/29			
履修条件	特になし	キーワード	企業倫理、ISO26000、BOP ビジネス、CSR、共通価値の創造、人権 Due Diligence	
全体の教育 目標	企業経営に必要な企業倫理の視点を学ぶ	個別の学習 目標	①重要な概念・用語の理解。 ②事例の論理的な分析。 ③具体的な課題解決の提案。	

授業の概要

現代社会において、企業倫理の必要性は企業を取り巻く様々なステークホルダーが認める
ところですが、しかしながら、「企業は倫理的であるべき根拠は何か?」、「倫理的である企業
とは具体的にはどのような企業か?」「企業倫理は企業価値の向上にどのように結びつくの
か?」等、企業倫理に関する論点や問題は様々に存在します。本講義では、企業倫理に関
する基本的な理論を俯瞰し、統合社会契約論、ステークホルダマネジメント、CSR、CSV
経営等の企業倫理に関する基本的な概念を学びます。また多くの事例研究・学習や実務に
携わる人々との対話から企業の現場における企業倫理の実像を知ること、これらの論点
や課題を一つずつ紐解いていきます。

授業の進め方

【授業の進め方】
授業前学習；配布するケースを読み、出題された課題について意見をまとめてください。
授業；座学とクラス討議を中心に行います。必要に応じて演習を実施します。
授業後学習；授業の内容を復習してください、必要に応じて補完教材を配布します。
【受講に際しての注意】

- 最初の授業は、ガイダンスを行いません。
- テキストや参考書は追加・変更されることがあります。変更がある場合は、授業開始後
に適宜、受講者に連絡を行いません。

教科書および 参考図書

(参考書) 高 巖 (2013) 『マネジメント・テキスト ビジネスエッセンス [企業倫理]』、日
本経済新聞出版社。
(参考書) 岩井克人、小宮山 宏 (2014) 『会社は社会を変えられる 社会問題と事業を〈統合〉
する CSR 戦略』、プレジデント社。
(参考書) 岡本大輔、梅津光弘 (2006) 『企業評価+企業倫理—CSR へのアプローチ (慶應
経営学叢書)』、慶應義塾大学出版会。
(参考書) 上田和勇 (2014) 『企業倫理リスクのマネジメント』、同文館出版。

試験・成績評 価の方法等

期末レポート 50% ； 中間レポート 30% ； 講義内課題 20%